

平成28年度

歯及び口腔の健康づくりに関する報告書

栃木県

歯及び口腔の健康づくりに関する報告について

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例（平成 22 年栃木県条例第 50 号）第 10 条の規定により、歯及び口腔の健康づくりに関する報告書を提出します。

平成28年9月21日

栃木県知事 福田 富一

目 次

I	はじめに	p. 1
II	県民の歯及び口腔の健康の状況	
	1 1歳6か月児	p. 1
	2 3歳児	p. 5
	3 園児・児童・生徒	p. 9
	4 成人・高齢者	p. 14
III	平成27年度歯科保健医療対策体系	p. 18
IV	平成27年度に講じた施策	
	1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	p. 19
	2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	p. 22
	3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	p. 23
	4 歯科保健医療提供体制の整備	p. 26
V	平成28年度に講じる施策	p. 31
VI	資料：県内市町におけるライフステージごとの取組（平成27年度）	p. 33

I はじめに

この報告書は、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」（以下、「条例」という。）第10条の規定により、歯及び口腔の健康の状況並びに県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して平成27年度に講じた施策及び平成28年度に講じる施策について、県議会に報告し、県民に公表するものです。

II 県民の歯及び口腔の健康の状況

各ライフステージ（1歳6か月児・3歳児・園児・児童・生徒・成人・高齢者）の県民の歯や口腔の健康の状況については次のとおりです。

1 1歳6か月児の状況

市町村が母子保健法（昭和40年法律第141号）第12条に基づき実施した満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成26年度における県内全域の対象者数は16,181人であり、うち健康診査の受診者数は15,681人でした。受診者のうち、むし歯がある1歳6か月児は256人でした（表1）。

表1 1歳6か月児健康診査受診状況（平成26年度）

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病率 (%)	むし歯の 総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,870	4,728	97.1	4,667	61	1.29	176	0.04
県西地域	1,267	1,198	94.6	1,187	11	0.92	21	0.02
県東地域	1,180	1,148	97.3	1,127	21	1.83	60	0.05
県南地域	3,882	3,777	97.3	3,718	59	1.56	190	0.05
県北地域	2,928	2,850	97.3	2,805	45	1.58	130	0.05
安足地域	2,054	1,980	96.4	1,921	59	2.98	177	0.09
県合計	16,181	15,681	96.9	15,425	256	1.63	754	0.05

(厚生労働省「平成26年度 地域保健・健康増進事業報告」)

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

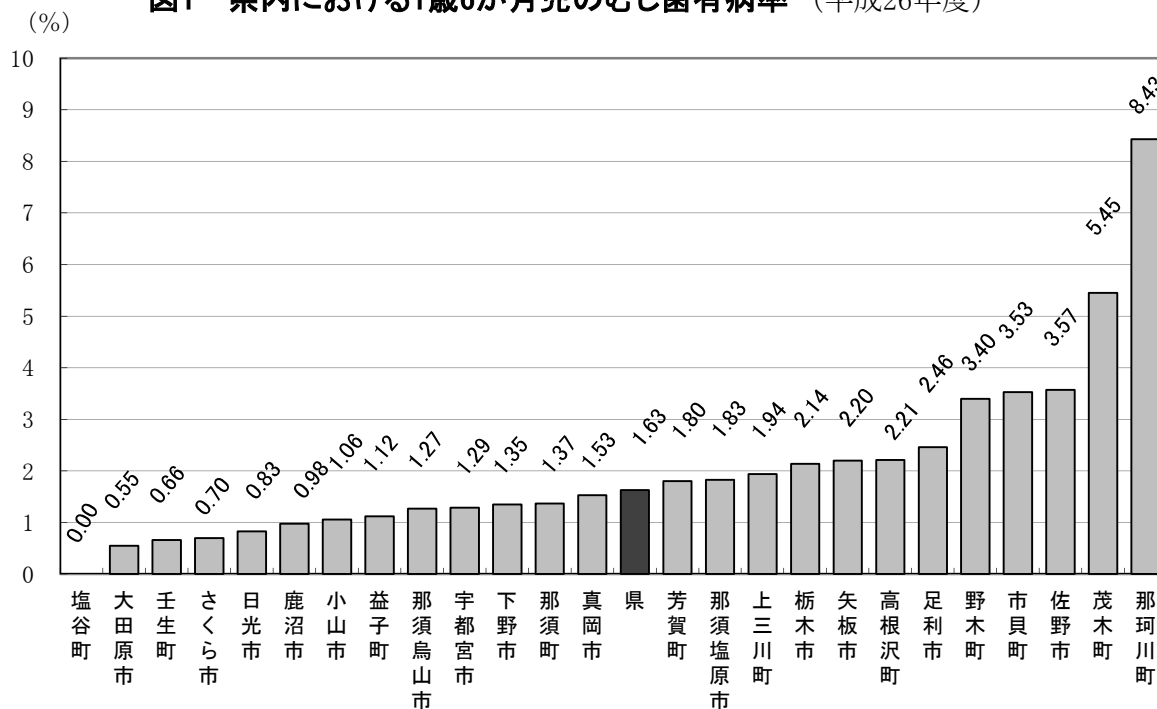
○安足地域：足利市、佐野市

(2) むし歯有病率

平成26年度におけるむし歯有病率は県平均が1.63%であり、最も高かったのは那珂川町で8.43%、最も低かったのは塩谷町で0%でした(図1)。

これまでの推移を見ると、本県の有病率は平成24年度までは全国平均を上回っていましたが、平成25年度に下回りました(図2、3)。

図1 県内における1歳6か月児のむし歯有病率 (平成26年度)

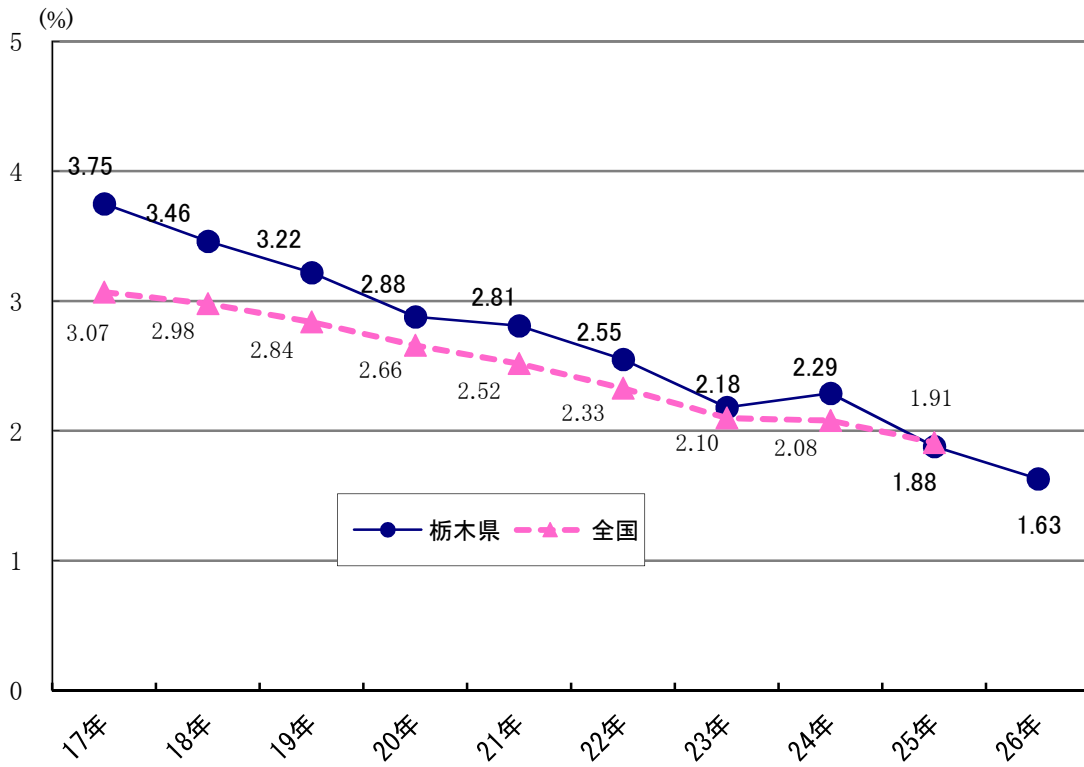


(厚生労働省「平成26年度 地域保健・健康増進事業報告」)

図2 都道府県別 1歳6か月児のむし歯有病率 (平成26年度)

厚生労働省において未公表

図3 1歳6か月児におけるむし歯有病率の推移

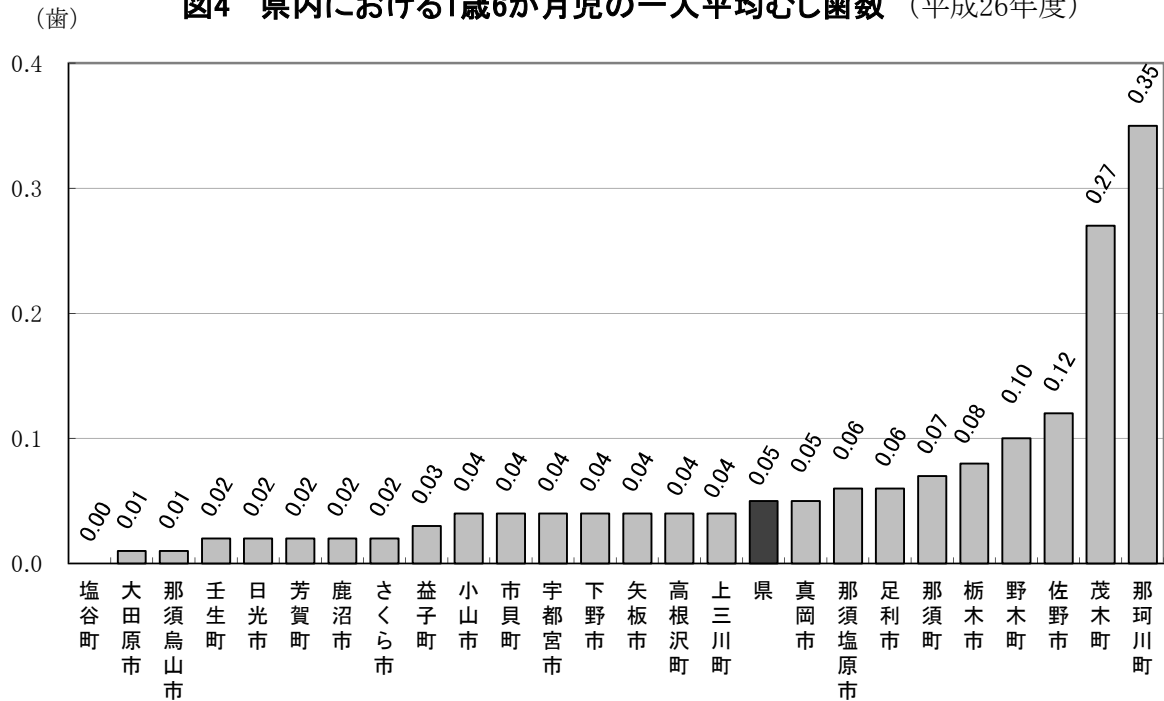


(厚生労働省「平成26年度 地域保健・健康増進事業報告」)

(3) 一人平均むし歯数

平成 26 年度における一人平均むし歯数は県平均が 0.05 歯であり、最も多かったのは那珂川町で 0.35 歯、最も少なかったのは塩谷町で 0 歯でした (図 4)。

図4 県内における1歳6か月児の一人平均むし歯数 (平成26年度)



(厚生労働省「平成 26 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

図5 都道府県別1歳6か月児の一人平均むし歯数 (平成 26 年度)

厚生労働省において未公表

2 3歳児の状況

市町村が母子保健法第12条に基づき実施した満3歳を超え満4歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成26年度における県内全域の対象者数は16,439人であり、うち健康診査の受診者数は15,747人でした。受診者のうち、むし歯がある3歳児は2,861人でした(表2)。

表2 3歳児健康診査受診状況(平成26年度)

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯のない者 (人)	むし歯のある者 (人)	むし歯有病率 (%)	むし歯の総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,805	4,559	94.9	3,865	694	15.22	2,391	0.52
県西地域	1,314	1,239	94.3	1,026	213	17.19	802	0.65
県東地域	1,231	1,209	98.2	981	228	18.86	908	0.75
県南地域	4,072	3,913	96.1	3,174	739	18.89	2,674	0.68
県北地域	3,037	2,934	96.6	2,351	583	19.87	2,135	0.73
安足地域	1,980	1,893	95.6	1,489	404	21.34	1,523	0.80
県合計	16,439	15,747	95.8	12,886	2,861	18.17	10,433	0.66

(厚生労働省「平成26年度 地域保健・健康増進事業報告」)

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

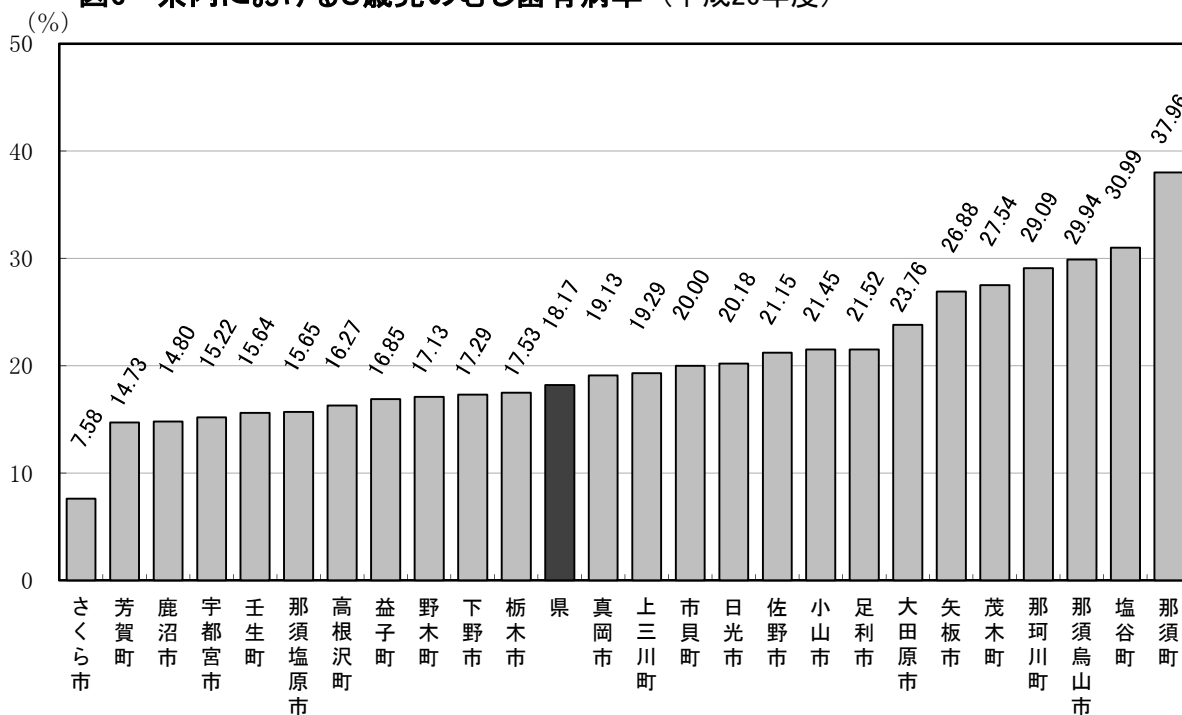
○安足地域：足利市、佐野市

(2) むし歯有病率

平成26年度におけるむし歯有病率は県平均が18.17%であり、最も高かったのは那須町で37.96%、最も低かったのはさくら市で7.58%でした(図6)。

本県の有病率は年々減少しており、平成25年度に「栃木県歯科保健基本計画」の目標値である20%以下を達成しましたが、全国平均よりも高い状態が続いています(図8)。

図6 県内における3歳児のむし歯有病率(平成26年度)

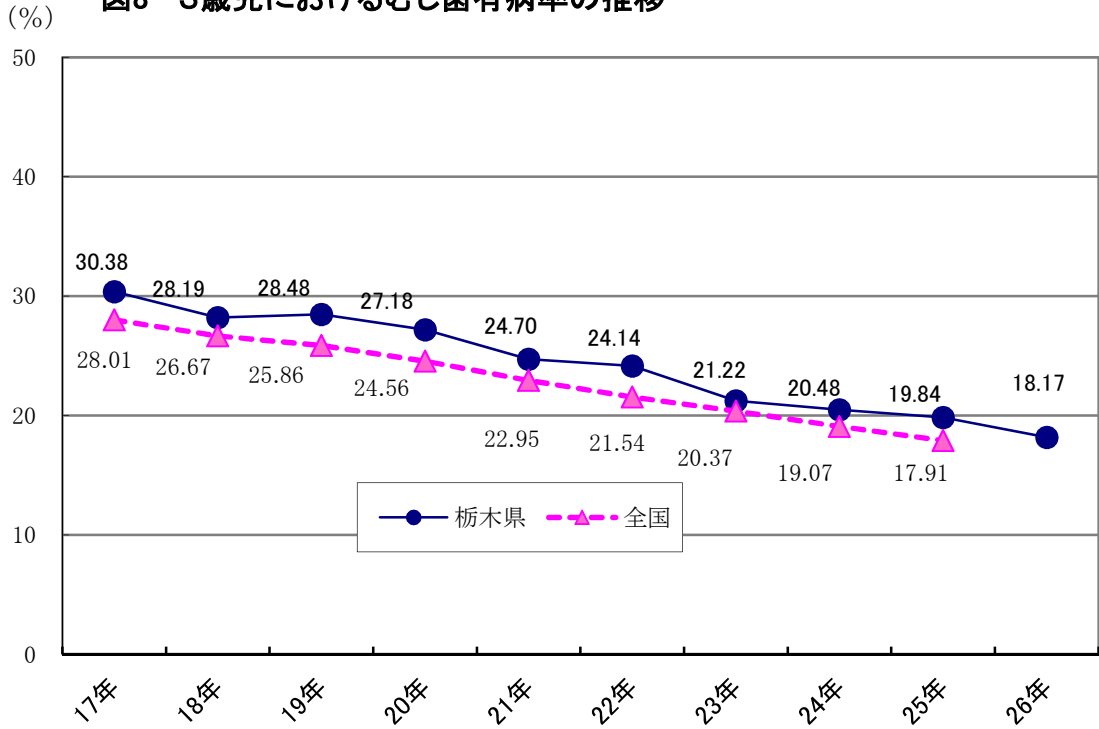


(厚生労働省「平成26年度 地域保健・健康増進事業報告」)

図7 都道府県別 3歳児のむし歯有病率(平成26年度)

厚生労働省において未公表

図8 3歳児におけるむし歯有病率の推移

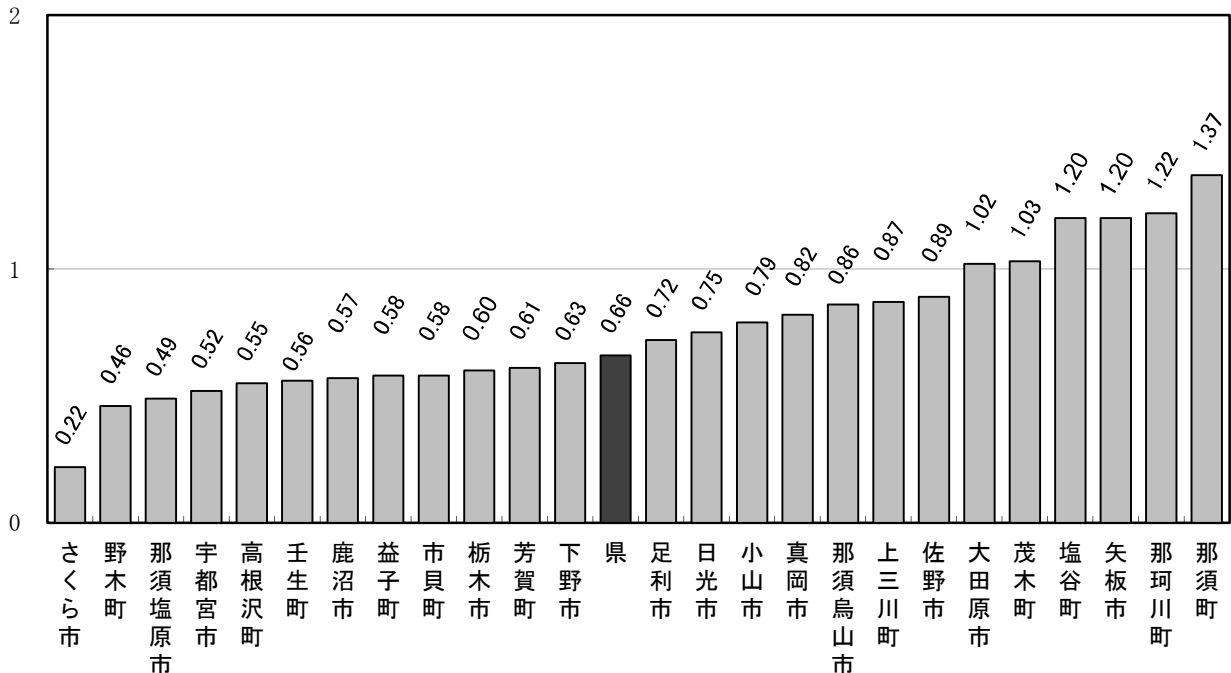


(厚生労働省「平成26年度 地域保健・健康増進事業報告」)

(3) 一人平均むし歯数

平成26年度における一人平均むし歯数は県平均が0.66歯であり、最も多かったのは那須町で1.37歯、最も少なかったのはさくら市で0.22歯でした(図9)。

(歯) 図9 県内における3歳児の一人平均むし歯数 (平成26年度)



(厚生労働省「平成26年度 地域保健・健康増進事業報告」)

図 10 都道府県別 3歳児の一人平均むし歯数（平成 26 年度）

厚生労働省において未公表

3 園児・児童・生徒

園児（翌学年の初めから学校に入学予定の園児）については学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 11 条に基づき市町村の教育委員会が、また、児童・生徒については同法第 13 条第 1 項に基づき各学校長が実施した健康診断の結果は次のとおりです。

(1) むし歯有病率(※)の推移

ア 園児（幼稚園児）

幼稚園児（5 歳児）におけるむし歯有病率については、平成 27 年度は 41.4%であり、過去 10 年間を通して減少傾向が続いています。

本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（表 3、図 11）。

※文部科学省の学校保健統計調査では「被患率」と表記しているが、本書では同義の「有病率」を使用している。

※本県の平成 26 年度は、調査対象が僅少で統計値として適当な数値が得られなかった等の理由で公表されていない。

表 3 幼稚園（5 歳児）におけるむし歯有病率の推移

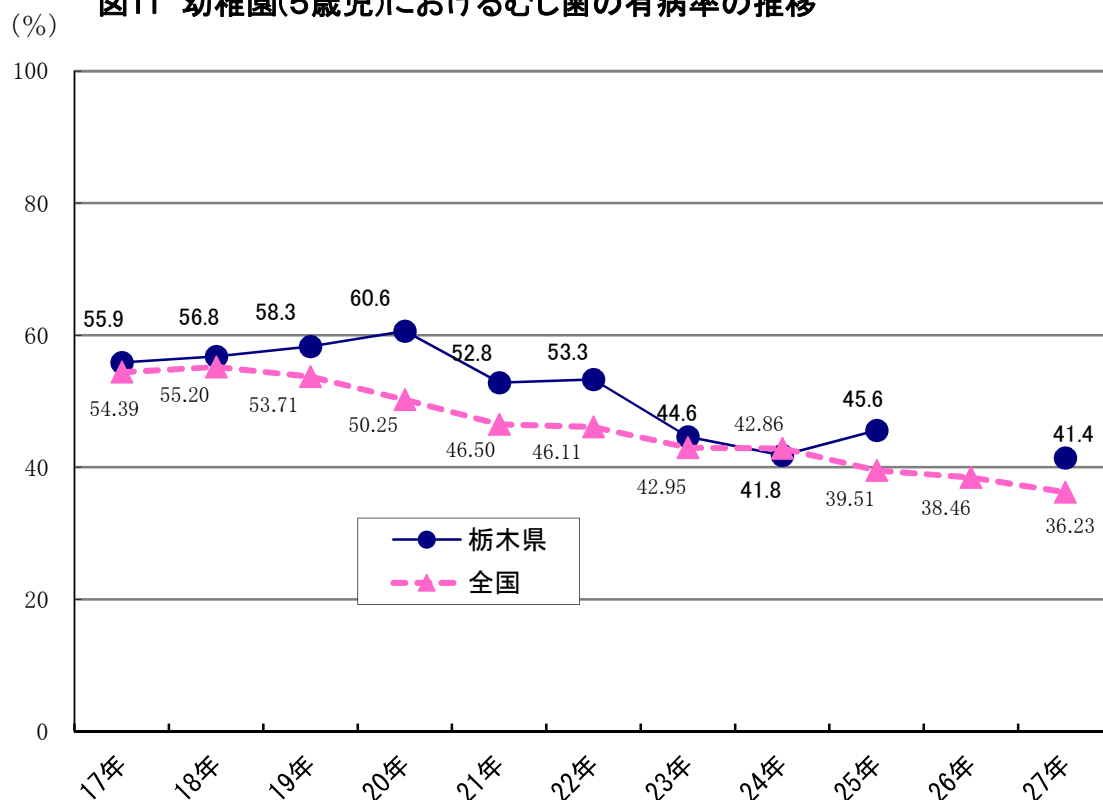
（単位：％）

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
幼稚園	むし歯	合計	56.8	58.3	60.6	52.8	53.3	44.6	41.8	45.6	X	41.4
		処置完了者	15.5	23.3	24.7	20.7	17.7	16.2	16.1	18.2	X	15.7
		未処置歯のある者	41.2	35.0	35.9	32.2	35.6	28.3	25.8	27.4	X	25.6

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 11 幼稚園(5歳児)におけるむし歯の有病率の推移



イ 小学生

小学生のむし歯有病率については、平成 22 年度から平成 25 年度までは約 60%と横ばいで推移していましたが、平成 27 年度は 54.7%まで減少しました（表 4）。

平成 27 年度の全国平均は 50.76%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図 12）。

表 4 小学生におけるむし歯有病率の推移

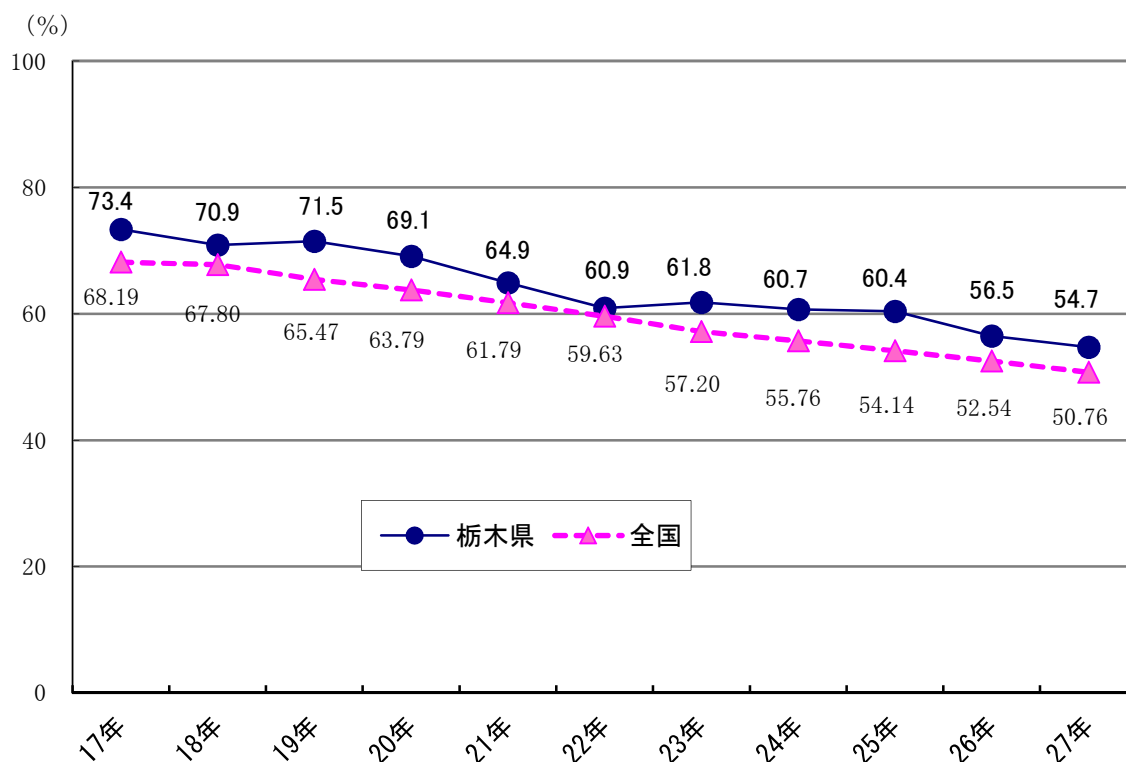
（単位：%）

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
小学生	むし歯	合計	70.9	71.5	69.1	64.9	60.9	61.8	60.7	60.4	56.5	54.7
		処置完了者	31.8	32.2	31.5	29.0	26.7	28.7	26.0	27.1	26.6	24.2
		未処置歯のある者	39.2	39.2	37.6	35.9	34.2	33.1	34.7	33.3	29.9	30.5

（注）四捨五入の関係により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 12 小学校におけるむし歯有病率の推移



ウ 中学生

中学生のむし歯有病率については、年度によって変動はあるものの減少傾向が続いており、平成27年度は41.8%まで減少しました（表5）。

平成27年度の全国平均は40.49%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図13）。

表5 中学生におけるむし歯有病率の推移

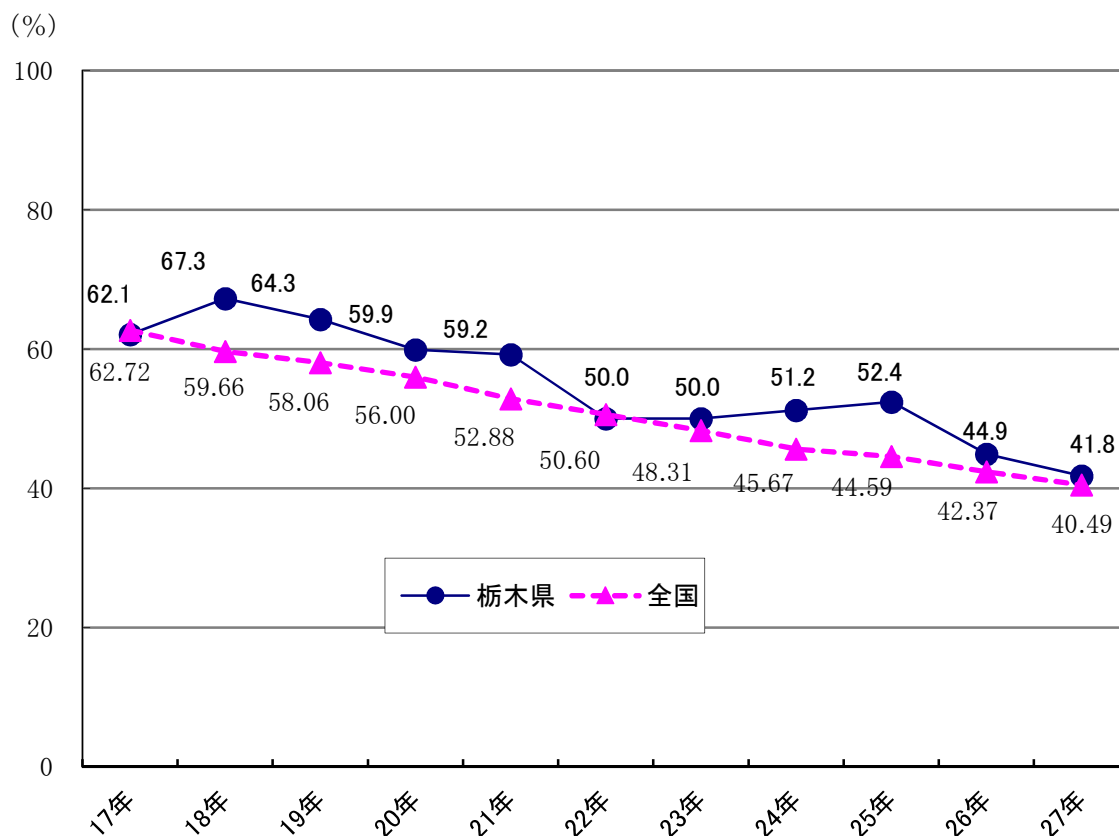
（単位：％）

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
中学生	むし歯	合計	67.3	64.3	59.9	59.2	50.0	50.0	51.2	52.4	44.9	41.8
		処置完了者	36.8	33.2	33.5	34.4	29.6	28.3	30.3	28.4	25.3	24.9
		未処置歯のある者	30.4	31.1	26.4	24.8	20.4	21.7	20.8	24.0	19.6	16.9

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図13 中学生におけるむし歯有病率の推移



工 高校生

高校生のむし歯有病率については、減少傾向が続いており、平成 27 年度は 58.7%まで減少しました（表 6）。

平成 27 年度の全国平均は 52.49%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図 14）。

表 6 高校生におけるむし歯有病率の推移

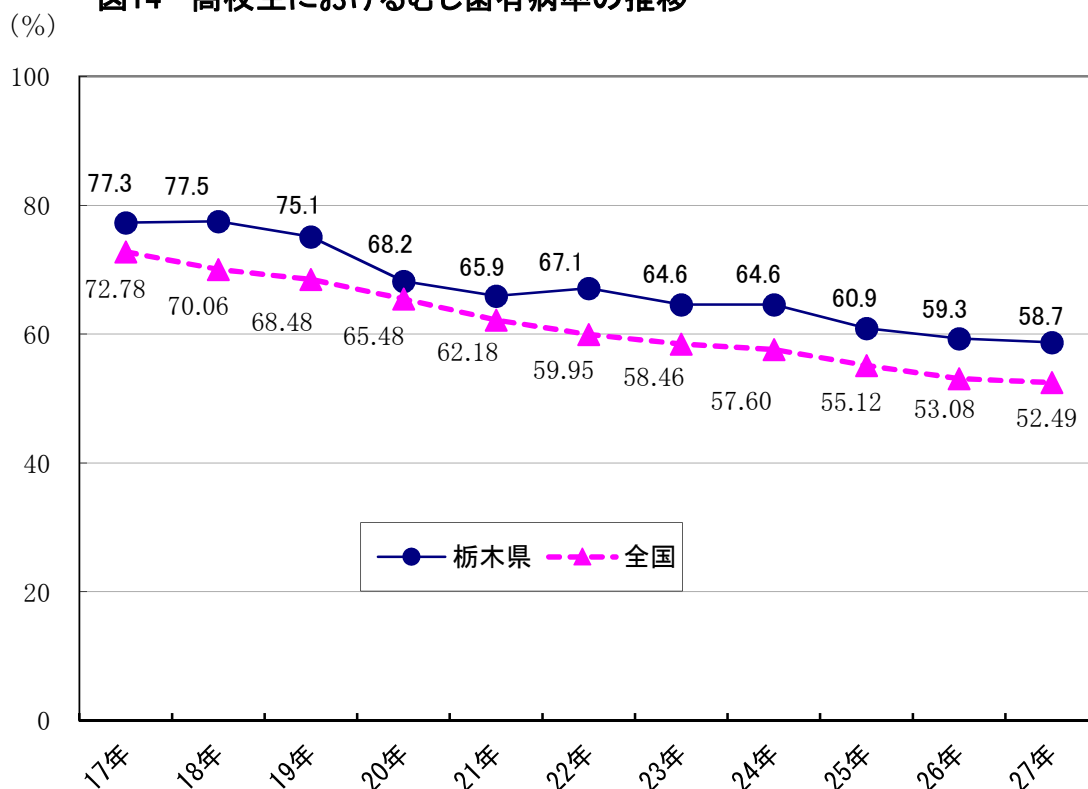
（単位：%）

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
高校生	むし歯	合 計	77.5	75.1	68.2	65.9	67.1	64.6	62.5	60.9	59.3	58.7
		処置完了者	45.8	42.3	41.9	37.4	39.6	36.5	35.5	32.9	36.8	33.9
		未処置歯のある者	31.7	32.9	26.4	28.5	27.5	28.1	27.2	28.0	22.6	24.9

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 14 高校生におけるむし歯有病率の推移



(2) 12歳の永久歯の一人平均むし歯等数

12歳の一人平均むし歯等数は、永久歯が生えそろった直後の指数となるため、国際的な判断基準（WHO：世界保健機構）となっています。

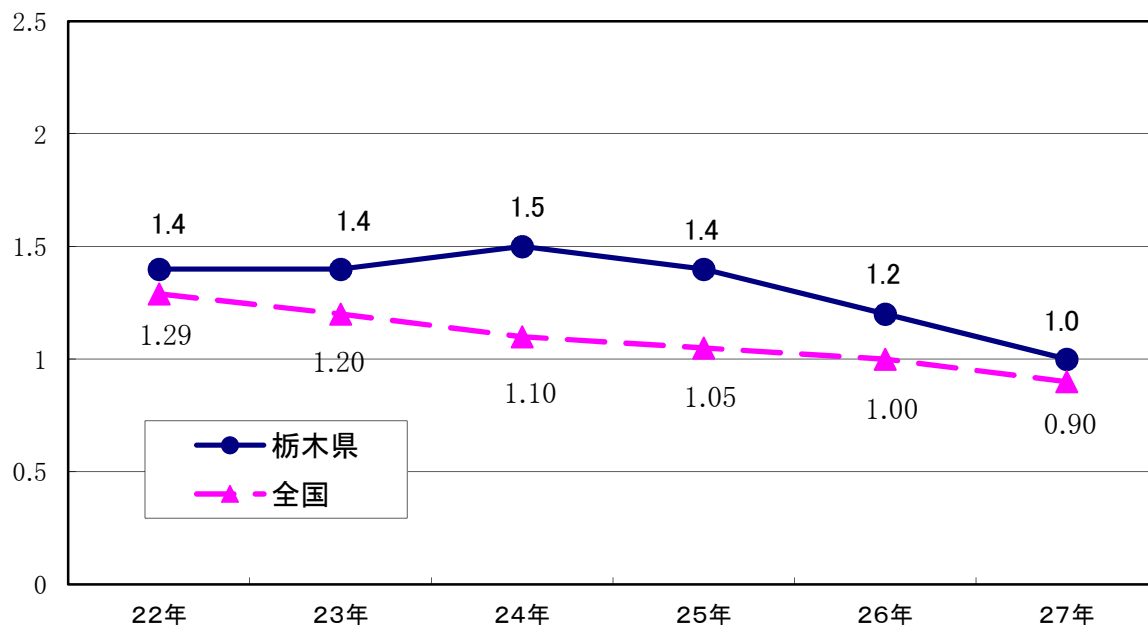
12歳の永久歯の一人平均むし歯数については、ほぼ横ばいで推移していましたが、平成27年度は1.0歯に減少し、「栃木県歯科保健基本計画」の目標値である「1.0歯以下」を達成しました。全国平均との差も0.1歯にまで縮小しました（表7、図15）。

表7 12歳の永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数（平成27年度）
（単位：歯）

区分	計	喪失歯数	むし歯（う歯）		
			計	処置歯数	未処置歯数
計	1.0	0.0	1.0	0.7	0.3
男	0.9	0.0	0.9	0.6	0.3
女	1.0	0.0	1.0	0.7	0.3

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図15 12歳における永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数の推移
（歯）



4 成人・高齢者

(1) 歯周疾患検診実施状況

市町村が健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）に基づき実施した 40 歳、50 歳、60 歳及び 70 歳の住民を対象とした歯周疾患検診の結果は次のとおりです。

ア 実施状況

平成 26 年度、歯周疾患検診を実施した市町は 23 市町であり、92%を超える高い実施率でした。

しかし、受診者数は 5,265 人とどまり、実施市町村の推計対象人口 100,429 人（平成 26 年 1 月 1 日現在）に対して受診率は 5.2%でした。

イ 各市町実施状況一覧（平成 26 年度）

（単位：人）

市町名	受診者数			受診者数			検査結果			受診者数			検査結果		
	計	男	女	40歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	50歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず		
				男	女				男	女					
宇都宮市	1,448	421	1,027	79	299	334	22	22	50	186	214	12	10		
鹿沼市	448	195	253	60	66	108	5	13	41	56	90	2	5		
日光市															
真岡市	417	167	250	27	56	74	5	4	38	53	80	5	6		
益子町	90	45	45	4	12	12	2	2	8	7	13	1	1		
茂木町	56	18	38	3	8	11	0	0	2	7	4	1	4		
市貝町	10	4	6	1	1	1	1	0	2	1	1	2	0		
芳賀町	41	15	26	4	1	0	4	1	2	7	0	7	2		
栃木市	713	265	448	45	84	113	6	10	35	86	107	8	6		
小山市	315	116	199	22	55	65	3	9	18	31	43	1	5		
下野市	68	11	57	1	15	15	1	0	4	21	22	0	3		
上三川町	80	28	52	10	16	18	5	3	5	12	14	3	0		
壬生町	192	72	120	18	29	21	15	11	12	26	22	8	8		
野木町	85	36	49	8	7	11	2	2	3	5	7	0	1		
大田原市															
矢板市	32	11	21	3	4	5	0	2	1	2	2	0	1		
那須塩原市	517	209	308	56	83	119	2	18	28	62	81	1	8		
さくら市	75	33	42	24	21	21	12	12	1	2	3	0	0		
那須烏山市	27	4	23	0	3	2	0	1	0	5	4	1	0		
塩谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
高根沢町	24	9	15	0	5	0	5	0	2	2	0	4	0		
那須町	82	36	46	3	3	5	0	1	3	7	9	0	1		
那珂川町	84	35	49	3	4	6	0	1	10	16	24	0	2		
足利市	169	60	109	9	16	13	8	4	8	18	15	2	9		
佐野市	292	106	186	26	51	50	23	4	17	38	36	16	3		
計	5,265	1,896	3,369	406	839	1,004	121	120	290	650	791	74	75		

(単位:人)

市町村名	受診者数		検査結果			受診者数		検査結果		
	60歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	70歳		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず
	男	女				男	女			
宇都宮市	74	219	269	11	13	218	323	499	19	23
鹿沼市	42	67	94	7	8	52	64	104	5	7
日光市										
真岡市	50	82	119	5	8	52	59	95	9	7
益子町	20	18	28	5	5	13	8	16	4	1
茂木町	8	15	2	16	5	5	8	7	4	2
市貝町	0	3	3	0	0	1	1	2	0	0
芳賀町	5	6	0	11	0	4	12	0	12	4
栃木市	74	150	204	11	9	111	128	217	9	13
小山市	21	47	59	4	5	55	66	104	2	15
下野市	3	17	18	1	1	3	4	5	1	1
上三川町	4	12	14	1	1	9	12	17	1	3
壬生町	16	24	31	6	3	26	41	49	6	12
野木町	12	21	18	6	9	13	16	23	3	3
大田原市										
矢板市	1	8	8	0	1	6	7	10	0	3
那須塩原市	54	74	115	3	10	71	89	136	5	19
さくら市	2	9	5	4	2	6	10	10	3	3
那須烏山市	2	11	10	1	2	2	4	5	0	1
塩谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高根沢町	5	4	4	5	0	2	4	4	2	0
那須町	7	12	14	1	4	23	24	37	3	7
那珂川町	16	19	35	0	0	6	10	16	0	0
足利市	14	30	25	13	6	29	45	47	21	6
佐野市	27	58	64	15	6	36	39	55	17	3
計	457	906	1,139	126	98	743	974	1,458	126	133

(2) 平成 21 年度県民健康・栄養調査結果

平成 21 年度に実施した県民健康・栄養調査による成人・高齢者の歯の状況については次のとおりです。

ア 歯の本数

自分の歯（親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは除く。さし歯は含む。）は、男性で 20 歳代から、女性でも 30 歳代から減少する傾向がみられました。

男女とも 20 歯以上を持つ者は 50 歳代ではおよそ 80%でしたが、60 歳代では 60%程度に減少していました（図 16）。

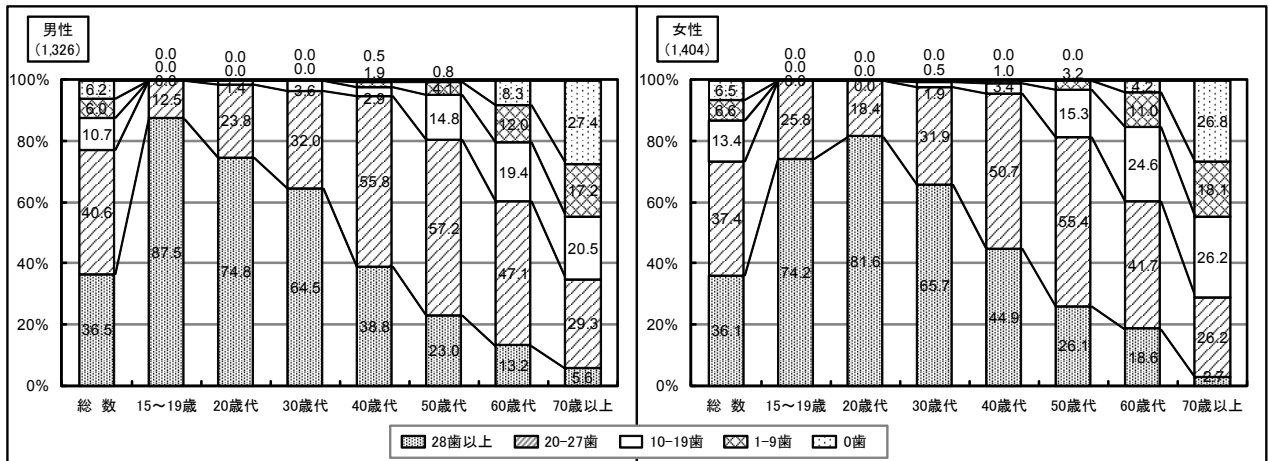


図 16 自分の歯の本数 (15 歳以上)

〔出典：栃木県保健福祉部健康増進課「平成 21 年度県民健康・栄養調査」〕

イ 6024 及び 8020 達成者

60 歳で 24 歯以上自分の歯を有する者（6024 達成者）の割合は、男女とも 50%以上（2 人に 1 人）となっており、平成 15 年に実施した同様の調査に比べて約 10 ポイント高い値でした。

同様に 80 歳で 20 歯以上自分の歯を有する者の割合は、男性で約 3 割、女性で約 2 割であり、前回調査に比べて、約 5%高い値でした（表 8）。

表 8 60 歳で 24 歯以上、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者の割合

(単位：%)

	60 歳 (55-64 歳) で 24 歯以上		80 歳 (75-84 歳) で 20 歯以上	
	H15	H21	H15	H21
男性	40.0	50.6	22.2	28.1
女性	44.1	54.7	15.5	20.9

〔出典：栃木県保健福祉部健康増進課「平成 21 年度県民健康・栄養調査」〕

ウ 歯科検診の受診率

過去1年間に歯科健診を受診した者の割合は、男性32.5%、女性38.5%でした。男女とも15～19歳では60%を超え、いずれも前回（平成15年）調査と比べて増加していました。

しかし、20歳以上ではいずれも50%には届かなく、また70歳代以上を除くすべての年齢階級では、女性の受診率が男性を上回っていました（図17）。

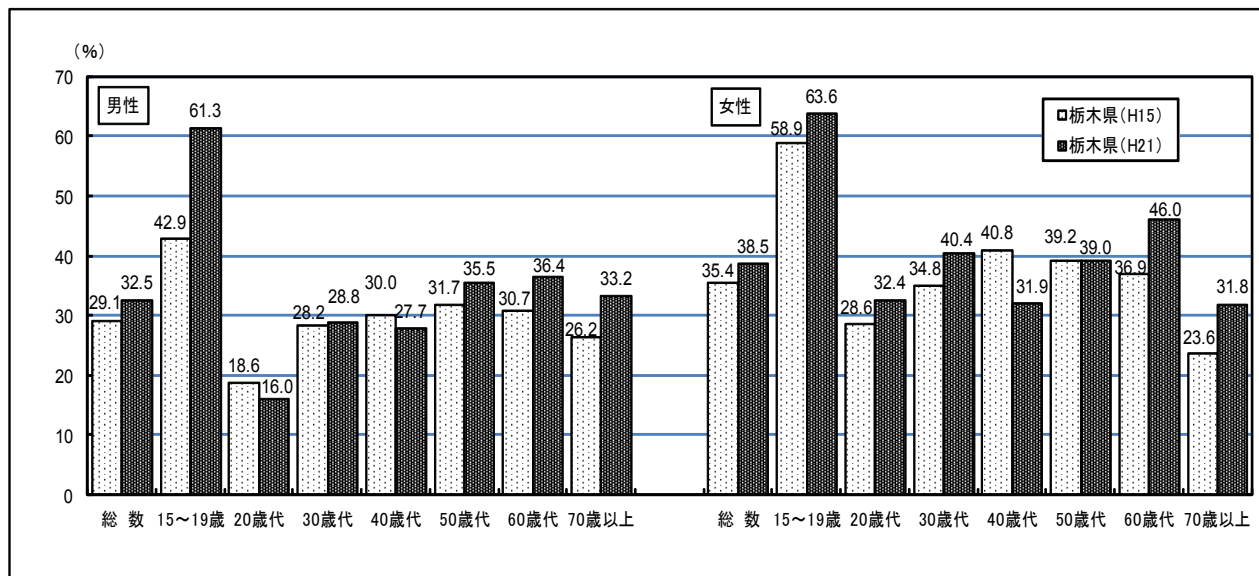


図17 歯科健診の受診状況（15歳以上）

〔出典：栃木県保健福祉部健康増進課「平成21年度県民健康・栄養調査」〕

〔参考〕歯周病と糖尿病の関連性

生活習慣病のなかでも糖尿病は、歯周病と密接に関連していることが研究により明らかになっております。

歯周病は糖尿病の「第6の合併症」と言われており、糖尿病患者は健常者に比べて歯周病が悪化しやすいことが分かっています。

また、慢性炎症としての歯周炎を改善することで、糖尿病が改善する可能性があることも分かっています。

県内の歯周病及び糖尿病患者数については、次のとおりです（表9）。

表9 県内の歯周病及び糖尿病の推計患者数

（単位：千人）

	歯肉炎及び歯周疾患	糖尿病
推計患者数	5.2	55

〔出典：厚生労働省「平成26年患者調査」〕

Ⅲ 平成27年度歯科保健医療対策体系

歯及び口腔の健康づくりを推進するため、県、市町等が実施した歯科保健医療に関する対策については次のとおりです。

区分 (栃木県歯科保健基本計画 施策体系毎)	事業名	IV (参 照) 講 じた 施 策	ライフステージ					実施主体			
			乳 幼 児	学 校	成 人	妊 産 婦	高 齢 者	県	教 育 委 員 会	市 町	関 係 機 関
歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	健康相談	1-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	各種広報媒体を活用した広報活動	1-(2)	○	○	○	○	○	○			○
	普及啓発	1-(3)	○	○	○	○	○	○			○
	乳幼児対象のフッ化物応用事業		○							○	○
	フッ化物応用事業(塗布・洗口)		○	○							○
	フッ化物洗口実施支援事業	1-(4)	○	○				○			○
	歯と口の健康週間事業	1-(5)	○	○	○	○	○	○		○	○
	栃木県歯科保健賞	1-(6)	○	○	○	○	○	○	○		○
	よい歯のコンクール(親と子・三歳児)	1-(7)	○					○		○	○
	よい歯の優良学校コンクール	1-(8)		○				○	○		○
よい歯の図画ポスター・作文・標語コンクール	1-(9)		○				○	○		○	
歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	へき地歯科巡回診療事業	2-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	健康教育	2-(2)	○					○			○
	永久歯等対策事業 (保育所・幼稚園、障害児通所施設、特別支援学校等)	2-(3)	○					○			○
	妊産婦歯科健診、集団指導					○				○	
	乳幼児健診等での指導		○							○	
	1歳6か月児健診		○							○	
	2歳児歯科健診、歯科保健指導		○							○	
	3歳児健診		○							○	
	学校歯科検診等			○					○		○
	成人歯科健診事業(40歳未満)	2-(4)			○			○		○	
歯周疾患健康相談、健康教室					○	○			○		
歯周疾患検診(40・50・60・70歳)					○	○			○		
障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	障害者歯科診療事業	3-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	障害者歯科医療システム整備事業	3-(2)	○	○	○	○	○	○			○
	永久歯等対策事業【再掲】		○	○				○			○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業	3-(3)	○	○	○	○	○	○			○
	生涯にわたる歯科保健・医療の推進事業	3-(4)	○	○	○	○	○	○			○
	在宅歯科医療推進事業	3-(5)	○	○	○	○	○	○			○
障害者摂食嚥下指導普及啓発事業	3-(6)	○	○	○	○	○	○			○	
歯科保健医療提供体制の整備	人材育成研修等	4-(1)	○	○	○	○	○	○			○
	歯科衛生士再就職支援事業	4-(2)	○	○	○	○	○	○			○
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	4-(3)	○	○	○	○	○	○			○
	歯科保健推進協力交付金	4-(4)	○	○	○	○	○	○			○
	栃木県歯科保健推進協議会	4-(5)	○	○	○	○	○	○			○
	障害児者歯科医療システム在り方検討部会	4-(5)	○	○	○	○	○	○			○
	栃木県8020運動推進協議会	4-(5)	○	○	○	○	○	○			○
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	4-(5)	○	○	○	○	○	○			○
歯科保健指導者講習会			○					○		○	

IV 平成27年度に講じた施策

1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であるので、歯や口腔の病気の予防等の各施策を適正かつ効果的に進めていくため、調査研究や成果の普及、情報収集や提供に関する事業を実施しました。

(1) 健康相談

とちぎ歯の健康センターにおいて、電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。

・受付時間：午前9時～午後4時30分

相談件数及び相談内容別内訳

内容	治療内容について						予防 指導	障害者等 の 歯科相談	その他	合計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	5	9	1	39	4	17	1	3	28	107

(2) 各種広報媒体を活用した広報活動

テレビやラジオ等の広報媒体を活用し、広く県民に普及啓発を行いました。

実施月	媒体等	番組テーマ・広報紙配布先
6月	とちぎテレビ／県政ひとくちメモ	歯と口腔の健康づくり
10月	県政出前講座（宇都宮市、足利市）	歯や口腔の健康づくり
1月	NHK宇都宮放送局／ときめきとちぎ	歯の健康
3月	絵本作家いわむらかずおさんのイラストを用いたポスター(5千部)、リーフレット(1万部)及びステッカー(1万部)を作成	保育所・幼稚園、小中学校、特別支援学校等に配布

(3) 普及啓発

とちぎ歯の健康センターの「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報媒体を活用し、普及啓発活動を行いました。

ア 展示コーナー、図書資料室

- ・図書貸し出し 18件（31点）
- ・ビデオ等貸し出し 47件（104点）
- ・パネル、備品貸し出し 62件（673点）

イ 機関紙等発行

- ・とちぎ歯の健康センターだより 第22号
- ・とちぎ歯の健康センター利用案内

ウ 視察研修

診療所及び展示コーナーの見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

(4) フッ化物洗口実施支援事業

市町村や小中学校におけるフッ化物洗口実施支援事業を実施しました。

従事歯科医師数	対象者	実施人員
107人	市町及び施設	11,436人

(5) 歯と口の健康週間事業

歯と口の健康週間に歯と口腔に関する正しい知識の普及を図るため、県内11ヶ所において講演会・保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11回	一般県民	3,791人

(6) 栃木県歯科保健賞

栃木県歯科保健賞は、昭和52年に栃木県歯科医師会が第29回保健文化賞を受賞したことを記念して創設されたものです。

県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して、顕彰を行いました。

団体の部	宇都宮市立陽南小学校
個人の部	野中義雄（歯科技工士）
	松本京子（養護教諭）

(7) 親と子のよい歯のコンクール・三歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3歳児健診を受診した幼児及びその親を対象に、コンクールを実施しました。

ア 審査内容

- ・第1次審査（市町）：3歳児健診結果の書類審査又は歯科診査
- ・第2次審査（宇都宮市・各広域健康福祉センター）：歯科・内科診査
- ・第3次審査（県・とちぎ歯の健康センター）：歯科・内科診査

イ 審査結果

コンクール名	審査				審査結果（第3次）		
	第1次	第2次	第3次	中央	最優秀	優秀	優良
親と子	58組	38組	12組	1組	1組	3組	8組
三歳児	290人	92人	12人		1人	3人	8人

(8) よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催で、コンクールを実施しました。

ア 審査内容

各小・中学校の定期健診結果、学校保健活動の充実度、歯科保健活動の状況及び歯総数・処置歯率等を総合的に審査しました。

イ 審査結果

区分	参加校	栃木県知事賞	栃木県議会議長賞	栃木県教育長賞	栃木県医師会長賞	栃木県歯科医師会長賞	入選
小学校	211校	1校	2校	3校	3校	9校	50校
中学校	82校	1校	2校	3校	3校	9校	19校

	小学校の部	中学校の部
栃木県知事賞	宇都宮市立峰小学校	那須町立那須中学校
栃木県議会議長賞	宇都宮市立岡本北小学校	宇都宮市立清原中学校
	栃木市立西方小学校	大田原市立金田南中学校
栃木県教育長賞	下野市立祇園小学校	日光市立日光中学校
	宇都宮市立宝木小学校	大田原市立金田北中学校
	宇都宮市立今泉小学校	宇都宮市立陽東中学校
栃木県医師会長賞	宇都宮市立清原南小学校	那須塩原市立東那須野中学校
	下野市立緑小学校	高根沢町立阿久津中学校
	那須町立大島小学校	足利市立協和中学校
栃木県歯科医師会長賞	上記 9校	上記 9校

(9) よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯と口の健康週間事業の一環として、小中学校の児童から図画・ポスター、作文、標語に関するコンクールを実施しました。

区分		特選	入選
図画ポスター	小学校	2点	21点
	中学校	1点	10点
作文	小学校	2点	14点
	中学校	1点	8点
標語	小学校	2点	21点
	中学校	1点	10点

2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及

県民自らが歯や口腔の健康づくりの重要性を理解し、実践的に取り組むため、学習や歯科検診の機会の提供等に関する事業を実施しました。

(1) へき地歯科巡回診療

無歯科医地区を有する市町村の中で、要請のあった地域を訪問し、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による地域住民の歯科診療を実施しました。

No.	市町名	実施場所	実施回数	患者実人数	患者延人数
1	日光市	栗山小学校	6回	6人	29人
2	那珂川町	馬頭東小学校	9	9人	98人
3	那珂川町	馬頭西小学校	9	9人	44人
合計			24	24人	171人

(2) 健康教育

とちぎ歯の健康センターにおいて、歯科保健に関する健康教育を実施しました。

(3) 永久歯等対策事業

県内の保育所・幼稚園・認定こども園、障害児通所施設、盲・聾・特別支援学校の幼児と保護者等を対象に、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」の説明や歯科保健指導を行いました。

種別	実施回数	対象者数
保育所・幼稚園	32回	1,314人
障害児通所施設	13回	250人
盲・聾・特別支援学校	10回	213人
合計	55回	1,777人

(4) 成人歯科健診事業

40歳未満の成人を対象に歯科健診を行う市町の事業費に対して助成を行いました。

3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保

歯科検診等を受けることが難しい状況にある障害者や要介護高齢者等に対して、歯科保健医療サービスを確保するための事業を実施しました。

(1) とちぎ歯の健康センター診療所

1階の診療所において、障害者を対象に歯科診療を実施しました。

ア 診療体制

- ・診療日 月曜日～金曜日（予約制）
- ・診療時間 午前：9時～12時、午後：1時30分～5時
- ・スタッフ
 - 午前：歯科医師 1名(常勤)
 - 歯科衛生士 6名(常勤)
 - 午後：歯科医師 3名(常勤1名、輪番制診療実行委員2名)
 - 歯科衛生士 7名(常勤6名、他1名)

イ 診療実績

患者延人数 (人)	新 患	6 1
	再 来	3, 4 5 1
	合 計	3, 5 1 2

ウ 月別患者数

月	患者延人数 (人)	診療日数 (日)	1日平均 患者数(人)
4月	3 1 0	2 1	1 5
5月	2 6 7	1 8	1 5
6月	3 2 2	2 2	1 5
7月	3 0 1	2 1	1 4
8月	2 2 9	1 6	1 4
9月	2 6 3	1 8	1 5
10月	3 1 2	2 1	1 5
11月	2 8 7	1 9	1 5
12月	2 8 2	1 8	1 6
1月	2 6 2	1 8	1 5
2月	3 2 1	2 0	1 6
3月	3 5 6	2 2	1 6
合 計	3, 5 1 2	2 3 4	—
平 均	—	—	1 5

[参考]

施設所在地 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2番5号
 連絡先 TEL: 028-648-6480 FAX: 028-648-6483



(2) 障害者歯科医療システム整備事業

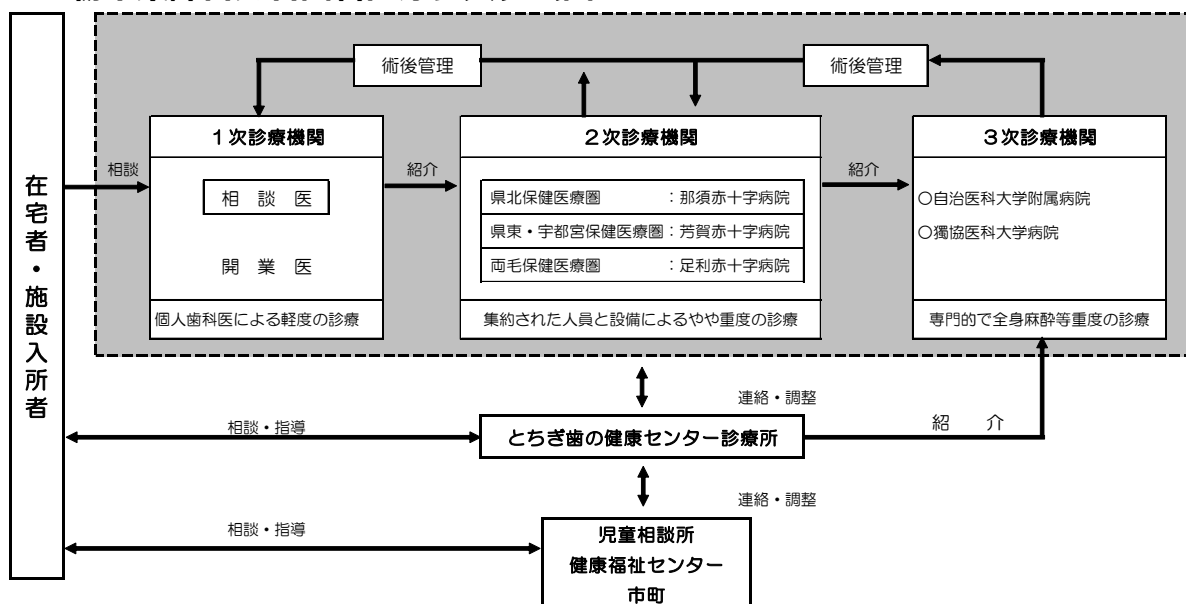
障害者における口腔衛生管理の充実を図るため、障害児者歯科医療システムの2次、3次診療機関（重度障害者が対象）の運営経費に対して助成しました。

- ・ 2次診療機関：やや重度の障害者を対象
 那須赤十字病院、芳賀赤十字病院、足利赤十字病院
- ・ 3次診療機関：2次診療機関で対応できない重度の障害者を対象
 自治医科大学附属病院、獨協医科大学病院

[参考] 栃木県障害児者歯科医療システム

本県では障害児者が歯科医療を受診する機会を確保するため、「栃木県障害児者歯科医療システム」を構築しています。

栃木県障害児者歯科医療システム図



(3) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業

歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」が、要請のあった障害者支援施設、福祉型障害児入所施設及び特別養護老人ホームを訪問し、歯科健診・相談・指導等を実施しました。

種 別	実施回数	対象者数
障害者支援施設・福祉型 障害児入所施設	12回	252人
特別養護老人ホーム	28回	666人
合 計	40回	918人

(4) 生涯にわたる歯科保健・医療の推進事業

介護現場における口腔機能の維持向上を図るため、歯科医師・歯科衛生士などの歯科専門職が講師となり、看護及び介護従事者等を対象に要介護者等の口腔ケアに関する実践的な研修会を各地域で開催しました。

実施回数	参加者数
6回	156人

(5) 在宅歯科医療推進事業

在宅歯科医療を推進するための各種事業を実施しました。

ア 在宅歯科医療連携室

障害者や要介護者が、住み慣れた地域の中で必要な歯科医療や保健指導を受けられるよう、在宅歯科医療に関する相談や診療所の紹介、ポータブル歯科医療機器の貸出などを行う「在宅歯科医療連携室」の運営費に対して助成を行いました。

イ 在宅歯科医療従事者研修 【新規】

日時	研修内容	講師	会場	受講者数
12月6日(日)	在宅歯科医療の課題 と実際	茨城県歯科医師会 三木 次郎 氏	栃木県歯科医師会館	77人
2月14日(日)	在宅歯科医療の展開 (診療、ケア・リハビリ テーション)	鶴見大学歯学部 高齢者歯科学講座 菅 武雄 氏	〃	62人

(6) 障害者摂食嚥下指導普及啓発事業

障害者や要介護者に対する摂食嚥下指導の重要性について医療従事者等の理解促進を図るため、検討会や研修会を実施しました。

実施日	内 容	会 場	出席者	参加人数
12月4日 (金)	【検討会】 研修会の内容や受講者アンケートの項目、指導用パネルの作成等について協議	栃木県歯科医師会館 (宇都宮市)	研修会講師 1名 栃木県歯科医師会地域保健担当役員	4名
1月11日 (月)	【研修会】 演題:「摂食嚥下の基本と摂食嚥下障害児者への対応」 講師:那須赤十字病院 歯科口腔外科部長 伊藤 弘人 氏	【県央地区】 栃木県歯科医師会館	歯科医師、歯科衛生士、 歯科助手、管理栄養士、 栄養士、看護師、保育士、 保育支援員、言語聴覚士 等	126人
1月28日 (木)		【県南地区】 サンプラザ (栃木市)		91人
2月4日 (木)		【県北地区】 TOKOTOKO おおた わら		44人

4 歯科保健医療提供体制の整備

県民の生涯にわたる健康の保持増進を図るために、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化に取り組みました。

(1) 人材育成研修等

歯科保健に関する研修等を実施しました。

実施回数:25回、参加者数:105人

実施日 (期 間)	内 容	対象者	会 場	参加人数
7月13日	とちぎ歯の健康センター の事業概要	小山市民生委員・児童委員	とちぎ歯の健康センター	39人
11月10日 ～ 12月 4日	臨地実習	栃木県立衛生福祉 大学校 歯科衛生学科 3年	とちぎ歯の健康センター 診療所	25人
10月 8日 ～ 12月17日	歯科助手認定講習	歯科助手認定講習会 受講者	栃木県歯科医師会館・とちぎ歯の健康センター	41人

(2) 歯科衛生士再就職支援事業 【新規】

出産・子育て等を理由に離職した歯科衛生士の再就職を支援するため、研修を行いました。

実施日	内 容	講 師	会 場	参加人数
12月13日	歯科診療に必要な知識 及び実習	歯科衛生士 3人	とちぎ歯の健康センター	5人
2月 7日				8人

(3) 歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

開催日	内容・講師	対象者	参加者数
2月11日	講演：「神経発達症群（神経発達障害群）と歯科医療」 講師：東京医科歯科大学大学院医歯学 総合研究科障害者歯科学分野 准教授 篠塚 修 氏 パネルディスカッション 「とちぎ歯の健康センターと1次医療機関との医療 連携について」 [パネリスト] ・とちぎ歯の健康センター 専任歯科医師 石川 博之氏 ・栃木県歯科医師会 理事 箱島 光一氏 [コーディネーター] ・とちぎ歯の健康センター 指導医 向井 美恵氏	歯科医師 歯科衛生士	59人

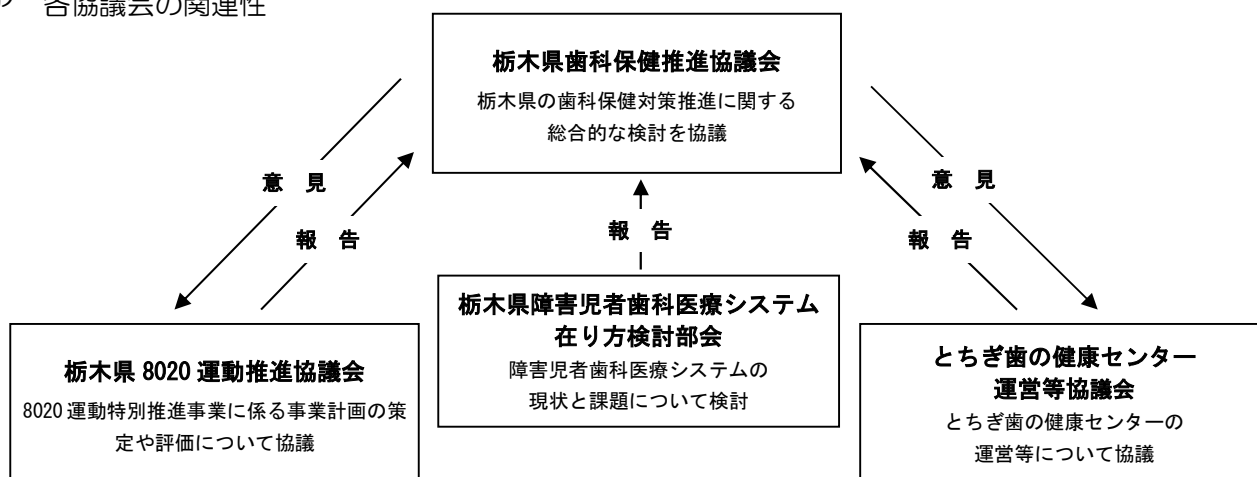
(4) 歯科保健推進協力交付金

(一社) 栃木県歯科医師会が行う歯科保健対策推進事業に対し支援を行いました。

(5) 歯科保健対策関連協議会

本県では歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会と1つの部会を設置しています。

ア 各協議会の関連性



イ 栃木県歯科保健推進協議会

本県における歯科保健対策を推進するため、様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、本県の総合的な歯科保健対策事業について協議しました。

(ア) 平成27年度栃木県歯科保健推進協議会の結果

- ・日 時：平成27年8月6日（木）午後2時～4時
- ・場 所：県庁本館 9階会議室3
- ・出席者：委員14名
- ・議 題
 - (1) 平成27年度歯及び口腔の健康づくりに関する報告について
 - (2) 栃木県障害児者歯科医療システムの在り方について
 - (3) 在宅歯科医療連携室の設置について

(イ) 栃木県歯科保健推進協議会委員（H27）

	氏 名	所属・役職等
1	柴 田 勝	栃木県歯科医師会 会長
2	宮 下 均	栃木県歯科医師会 副会長（地域保健担当）
3	瓦 井 昭二	栃木県歯科医師会 常務理事（学校保健担当）
4	前 原 操	栃木県医師会 副会長
5	長 谷 規子	栃木県歯科衛生士会 副会長
6	菊 地 澄男	栃木県歯科技工士会 会長
7	川 田 亨	栃木県老人福祉施設協議会 理事（特別養護老人ホームかがやき施設長）
8	今泉 美佐子	栃木県保育協議会 理事（宇都宮市立北雀宮保育園長）
9	稲 葉 雅美	市町村代表（茂木町保健福祉課長）
10	福 原 円	栃木県市町村保健師業務研究会 副会長（小山市健康福祉課）
11	鈴 木 裕之	中核市（宇都宮市健康増進課長）
12	武 藤 孝司	栃木産業保健総合支援センター 所長
13	小川 富美子	栃木県栄養士会 理事（栃木県福祉協議会長）
14	鈴 木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
15	青 山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

- ・任期：H25.8.22～H27.8.21（2年間）

ウ 栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会

障害児者歯科医療の向上を図るため、栃木県歯科保健推進協議会内に当該部会を設置し、障害児者歯科医療システムの現状と課題について検討を行いました。

(ア) 第4回栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会

- ・日 時：平成27年6月4日（木）午後6時～7時
- ・場 所：県庁本館 9階会議室3
- ・出席者：委員10名
- ・議 題
栃木県障害児者歯科医療の在り方に関する報告書(案)について 他

(イ) 栃木県障害児者歯科医療システム在り方検討部会委員 (H27)

	氏名	所属・役職等
1	青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長
2	泉 さや香	獨協医科大学 口腔外科助教
3	入野 光市	栃木県歯科医師会 常務理事 (とちぎ歯の健康センター担当)
4	上野 泰宏	上野デンタルクリニック 院長
5	植原 雅章	栃木県歯科医師会 理事 (地域保健担当)
6	江面 陽子	あしかがの森足利病院 歯科 非常勤嘱託歯科医師
7	岡田 宗久	芳賀赤十字病院 歯科口腔外科部長
8	菊地 公治	国際医療福祉大学病院 歯科口腔外科医長
9	須永 芳弘	須永歯科医院 院長
10	土屋 欣之	自治医科大学 歯科口腔外科助教
11	牧野 兼三	とちぎ歯の健康センター 専任歯科医師
12	宮城 徳人	那須赤十字病院 第二歯科口腔外科部長
13	山根 伸夫	足利赤十字病院 歯科口腔外科部長

・任期：H27. 3. 1～H28. 3. 31

エ 栃木県 8020 運動推進協議会

歯科保健医療対策事業「8020 運動推進特別事業」(国庫補助事業)の実施状況及び次年度計画について協議しました。

(ア) 平成 27 年度栃木県 8020 運動推進協議会

- ・日 時：平成28年 3 月16日 (水) 午後 2 時30分～ 3 時30分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3階研修室 (宇都宮市一の沢 2-2-5)
- ・出席者：委員 7名
- ・議 題
 - (1) 平成27年度8020運動推進特別事業の実施状況について
 - (2) 平成28年度8020運動推進特別事業の実施計画案について

(イ) 栃木県 8020 運動推進協議会委員 (H27)

	氏名	所属・役職等
1	宮下 均	栃木県歯科医師会 副会長
2	田村 一夫	栃木県歯科医師会 専務理事
3	植原 雅章	栃木県歯科医師会 理事
4	林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
6	伊藤 満	栃木県教育委員会事務局 健康福利課長
7	青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

・任期：H27. 3. 1～H28. 2. 29 (1年間)

オ とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しました。

(ア) 平成27年度とちぎ歯の健康センター運営等協議会

- ・日 時：平成28年3月16日（水）午後3時30分～4時30分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3階研修室（宇都宮市一の沢2-2-5）
- ・出席者：委員5名
- ・議 題
 - (1) 平成26年度及び27年度の事業実施状況について
 - (2) 平成28年度事業実施計画案について

(イ) とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員（H27）

	氏 名	所属・役職等
1	田村 一夫	栃木県歯科医師会 専務理事
2	塩野谷 敏裕	栃木県歯科医師会 理事
3	箱島 光一	栃木県歯科医師会 常務理事
4	林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5	岩瀬 昭子	栃木県手をつなぐ育成会 副会長
6	峯山 敏正	栃木県障害者施設・事業協会 副会長

- ・任期：H28.3.1～H30.2.28（2年間）

V 平成 28 年度に講じる施策

事業名	事業説明	事業内容等	予防の推進	啓発と検診の普及	障害者等	体制整備等
歯及び口腔の健康づくり推進事業費 (857 千円)	県民の歯及び口腔の健康づくりを推進するために要する経費	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 ・普及啓発 ・地域における歯科保健対策の推進 ・成人歯科健診事業 	○	○		○ ○
歯科保健普及啓発事業 (2,750 千円)	歯科保健事業の充実及びその連絡調整事務等に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤嘱託員人件費等 ・よい歯のコンクール 	○			○
8020 運動推進事業 (1,934 千円)	80 歳になっても自分の歯を 20 本以上保つことを目標とした各種事業に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の開催 ・障害児者摂食嚥下指導普及啓発事業 			○ ○	○ ○
障害者歯科医療システム整備事業等 (10,041 千円)	障害や歯科疾患の程度に応じた歯科医療システムの円滑な運営に対する助成	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者歯科医療システム障害者高次歯科医療機関への支援 ◎障害者高次歯科医療提供体制の整備 【新規】			○	○
歯科疾患実態調査 (250 千円)	定期的に（前回 H22）実施される国による歯科口腔保健の全国調査に要する経費	◎調査地区の住民に対し、歯や口の状態について、アンケート及び問診により調査を実施 【新規】				○
歯科疾患予防推進事業 (3,557 千円)	小学校児童に対してフッ化物洗口を実施する市町に対する助成	◎フッ化物洗口に必要薬剤や器材に係る経費に対する補助 【新規】	○			
歯の健康センター事業 (32,957 千円)	とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害児者歯科診療、巡回歯科相談、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に要する経費	<ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発 ・相談事業（電話相談等） ◎永久歯等対策事業【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健従事者研修会 ・障害者歯科診療 ・福祉施設巡回歯科相談・指導等 ・歯と口の健康週間事業 	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○
歯科保健推進協力交付金 (7,200 千円)	歯科保健対策事業に対する交付金	・栃木県歯科医師会に対する交付金				○

事業名	事業説明	事業内容等	予防の推進	啓発と検診の普及	障害者等	体制整備等
歯の健康センター設備整備事業 費 (1,616 千円)	とちぎ歯の健康センターの設備の改修に要する経費	・設備の改修				○
在宅歯科医療推進事業 (3,166 千円)	在宅歯科医療推進事業に対する助成	・在宅歯科医療連携室の運営 ・在宅歯科医療従事者研修事業 ・歯科衛生士の再就職支援事業			○ ○	○ ○ ○
合計 (64,328 千円)						

※事業名欄の（ ）内は予算額

※◎は新規に創設又は拡充した事業

VI 資料：県内市町におけるライフステージごとの取組（平成27年度）

ライフステージごとの事業実施一覧

事業 *1 市町名	妊産婦	乳児	1歳6ヶ月児	2歳児	3歳児	幼児	フッ化物	学童生徒	成人	歯周疾患検診	高齢者	全ライフ ステージ *2	計画 *3
宇都宮市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿沼市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日光市			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
真岡市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
益子町	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
茂木町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市貝町		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
芳賀町			○	○	○	○	○	○		○	○		○
栃木市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小山市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下野市	○		○		○	○	○	○		○	○		○
上三川町	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
壬生町			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
野木町	○		○	○	○	○	○	○		○	○		○
大田原市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
矢板市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那須塩原市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さくら市		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
那須烏山市	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩谷町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
高根沢町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那須町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那珂川町		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
足利市		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐野市	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○
合計	12	17	25	22	25	25	23	20	19	25	25	18	25

*1 事業の区分は各市町からの報告に基づき掲載

*2 全ての住民を対象としたイベント事業

*3 健康増進計画内に歯科が盛り込まれている計画